

# abode\*

洗練されたデザインと機能性を追求する  
ファニチャーレーベル、abode。英語で  
「住居」を意味する通り、人の生活の基本  
となる住空間に主軸を置いたプロダクト  
を展開する。

日々食事をし、大切な人と過ごし、身体  
を休める場が、その人自身をかたち作っ  
ているとも言える。目指すのはライフ  
スタイルにアクセントを付け、感性を  
心地よく刺激する製品。

優れた品質を求めた結果、すべての製品は  
made in Japan である。

[Designer] 奈須田 友也

1987年 大阪生まれ  
金沢美術工芸大学卒。家電メーカーを経て、  
2014年より TOMOYA NASUDA DESIGN として、  
ロボット / 家具 / うつわ / ステーションナリーなど、  
ジャンルを問わずものづくりに関わる活動を開始。



<http://tn-d.net>



# PVCS

Coat Hanger / Wardrobe



ジョイントにPVCを使用した  
シンプルな構造のコートハンガー



容易に折り畳みが可能



同構造のワードローブ

【製品のご購入 / お問い合わせ】 [www.abode.co.jp](http://www.abode.co.jp) 株式会社アボード 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町 2-2-9 南ビル 101 TEL 03-5724-8952 FAX 03-6740-2101

## 編集後記

「トップニュース」は12月に開催された「エコプロダクツ2014」出展の紹介です。塩ビの10の特性をクリアカラーのパネルで飾った今までと違う明るい雰囲気ブースで、塩ビのイメージが変わったとのいい評価を受けました。「さきがけびとにきく」は、自身の造語であるPRファシリテーターの肩書でクリエイターとして活躍する夏目康子さんです。日本のものづくりと国内外デザイナーのコラボによる新しい製品の開発に意欲的に取り組んでおられ、そのアイデアには優秀さが光ります。「リサイクルの現場から」は株式会社日本プラスチックの紹介です。リーマン・ショックの折、余材、不良品の引き取り業者がいなく困っているメーカーからそれらを全部引取ったところから信用を得、それ以来、売上がうなぎのぼりになった様子を伺い感激しました。「ものづくりの現場から」は、毎回PVC Design Awardに応募して頂いているジャパン・プラス社の紹介です。楽しさと驚きに満ち溢れた製品群には圧倒されます。積水化学工業(株)から新しい塩ビ素材を用いた水処理膜が開発され排水処理で活躍しています。また、最後の広告欄で、PVC Design Award 2014で優秀賞を取り、今年早々と商品化した奈須田さんのPVCSを紹介しています。まだまだ新しい塩ビ系の素材、用途が出てくる余地がありそうです。今後とも、ご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。  
(小坂田史雄)